

2023.1.17

株式会社ベネクスの
株式取得に関する補足説明資料

プレミアアンチエイジング株式会社
東証グロース4934



PREMIER ANTI-AGING

本件の狙い

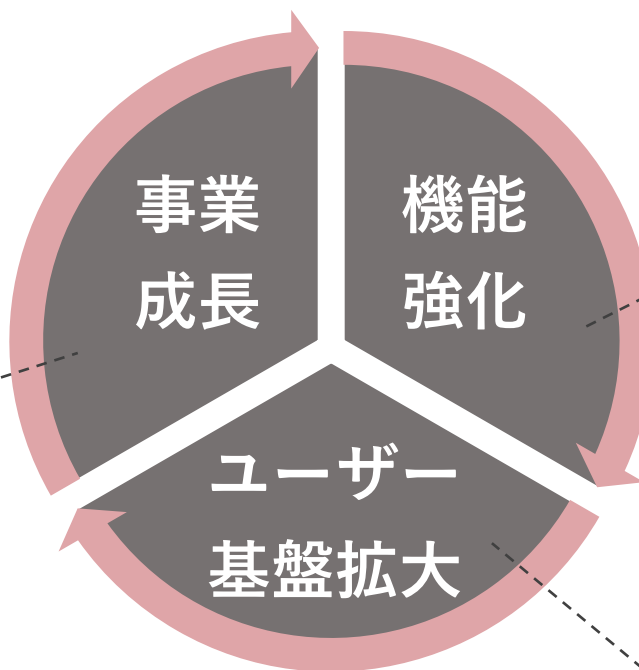
アンチエイジングカンパニーの実現に向け事業領域の拡大を企図、「リカバリー事業領域」へ参入する事で、お客様にとってより一層価値のある商品/体験を提供するuniqueな企業として事業成長の加速を実現する

目的

- ・ アンチエイジングプラットフォーム実現に向けた新たな価値創出の仕組みを構築
- ・ リカバリー事業領域におけるブランドと研究開発機能の獲得
- ・ 既存顧客層への新たな価値提供と新規顧客層へのアプローチによるユーザー基盤の拡大

想定されるシナジー

- ・ リカバリー市場への参入
- ・ アンチエイジング関連サービスのクロスセル促進
- ・ マーケティング戦略やトップアスリート/著名人を活用したPR活動の連携



- ・ ブランド力、商品企画力の強化、および顧客体験価値の創出
- ・ 研究開発機能の強化
- ・ プロフェッショナル人材のグループ内共有による機能強化

- ・ 既存顧客に対する新たな価値の提供
- ・ リカバリー事業領域における新規顧客の獲得
- ・ アンチエイジングプラットフォームサービス構築による顧客体験の向上

- ✓ リカバリー市場におけるパイオニアとして、リカバリーウェアの開発・製造・販売を推進
- ✓ プロスポーツクラブにおけるオフィシャルウェアへの採用や、トップアスリートを始めとした多くの著名人による使用など、多数実績あり

会社概要

項目	内容
会社の商号	株式会社ベネクス
本店所在地	神奈川県厚木市中町4-4-13 浅岡ビル4階
設立年月日	2005年9月
事業内容	リカバリーウェアの開発・製造・販売 リカバリーに関する研究啓蒙活動、サービス/商品開発など
従業員数	32名（2023年1月末時点）
資本金	1,000万円
代表者	中村太一



<創業からの経緯>

- 2005年9月：株式会社ベネクス設立
- 2006年6月：新潟医療福祉大学と共同研究開始
- 2007年9月：新素材開発に伴い特許出願
(※2009年11月：本特許登録)
- 2008年9月：市場形成と技術開発に向けた産学官連携
(国外大学等含む)
- 2013年2月：世界最大級の国際スポーツ用品専門見本市「ISPO」アジアプロダクト部門金賞受賞
- 2018年9月：休養時専用ウェアとして、神奈川県「MY-BYO BRAND」認定
- 2019年7月：日本健康医療学会「健康医療アワード」受賞

その他、サッカーやバスケットボールなどのプロスポーツクラブ等へのオフィシャルウェアへの採用や認可/認定・受賞実績多数

- ✓ ベネクス社は、休養の価値を進化させ、リカバリー市場の開拓とともに「社会の役に立つ企業」を目指す
- ✓ 原料からのものづくりにこだわりをもち、独自の特許技術を用いて作られた生地を使用した高性能・高品質な製品開発を実現

事業概要

世界のリカバリー市場を創造し、そこに関わるすべての人を元気にする

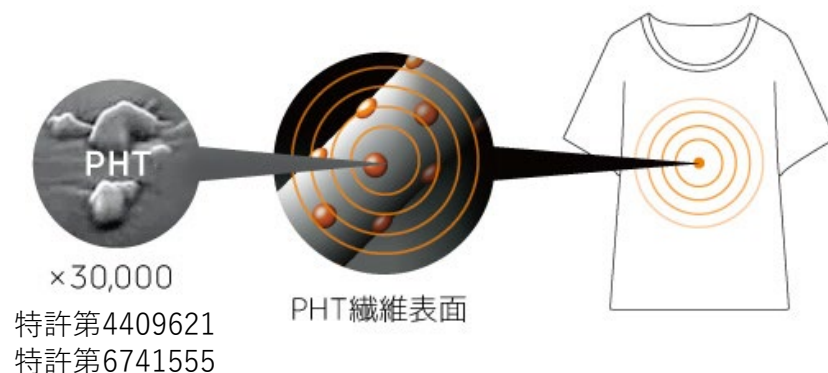
ハイパフォーマンスには“攻めの休養”が必須

着る事で“攻めの休養”を実現するウェアの開発



PHT (Platinum Harmonized Technology)

繊維※1本1本にナノプラチナなどの鉱物を練り込んだベネクスの特殊繊維「PHT (Platinum Harmonized Technology)」。人体に有害な薬品などは不使用。また、世界トップレベルの厳しい検査をクリアした繊維だけに与えられる、安心・安全の証明「エコテックス」国際規格の認証を取得しています。

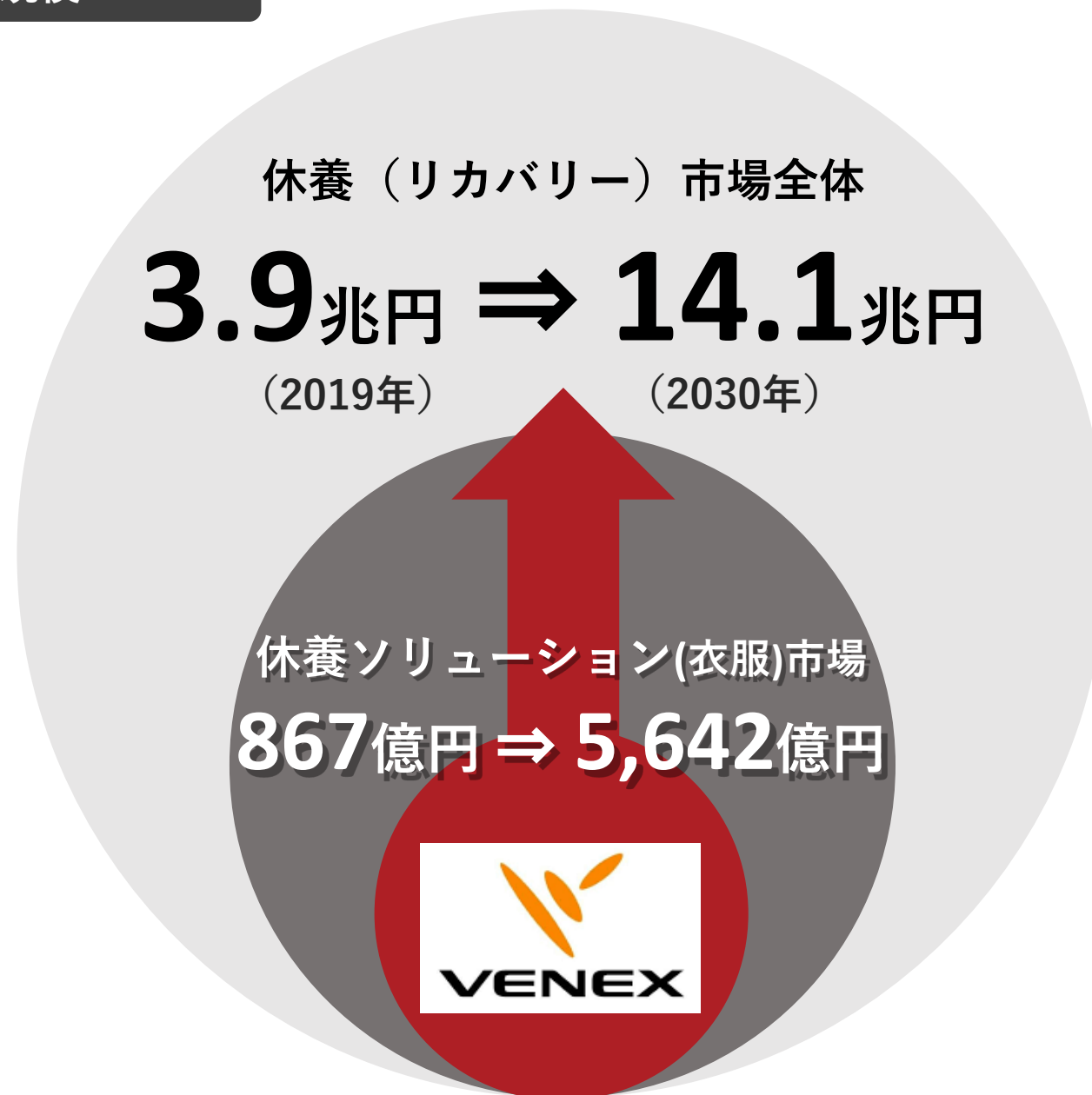


出典：株式会社ベネクスHPより (<https://www.venex-j.co.jp/>)

※PHTポリエステル糸はエコテックス規格100製品分類Ⅰの認証を取得。すべての商品にPHT繊維を使用。

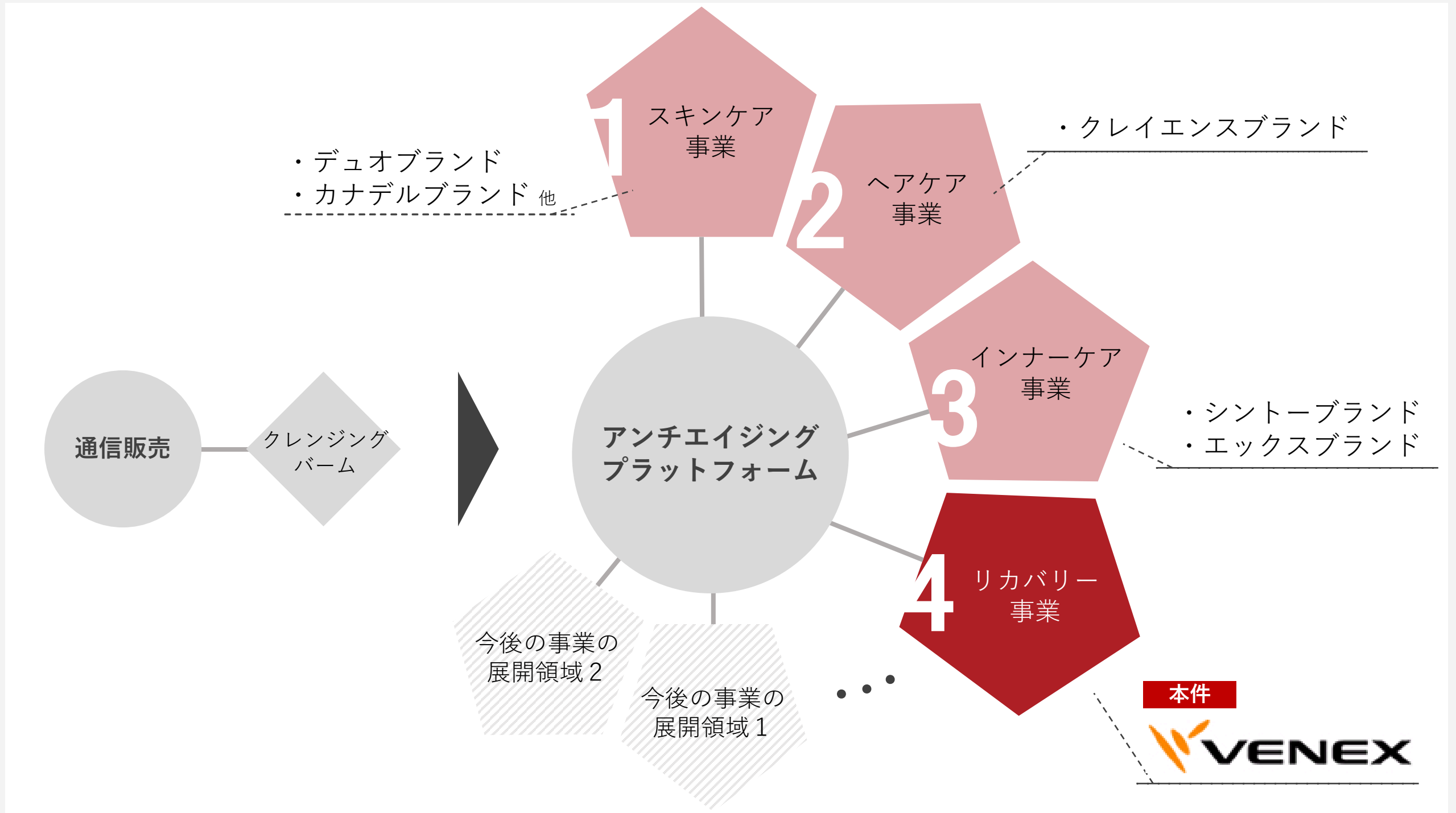
- ✓ リカバリーウェアの属する休養（リカバリー）市場は、2030年に14.1兆円規模になると予想され、2019年から約3.6倍の市場成長を見込む
- ✓ 特に、休養ソリューション（衣服）は、2019年から2030年における市場成長は約6.5倍と大きな伸びが予想され、リーディングカンパニーとして市場を牽引するベネクス社の売上成長が期待できる

2030年の推定市場規模



※休養週間推進事務局「神奈川県 未病産業研究会と連携し、日本初、健康の3要素「休養（リカバリー）」の市場規模を推計2030年休養（リカバリー）市場は14.1兆円に」

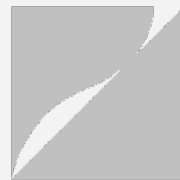
- ✓ アンチエイジングカンパニーの実現に向け、事業領域を拡大する
- ✓ 360万人の顧客基盤に加え、新しい事業領域の顧客に対してアンチエイジングの顧客体験価値の提供を実現する



- ✓ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ✓ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ✓ 成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクとして、通販化粧品市場の動向に影響を受けることがあります。積極的なプロモーションの推進や顧客の潜在ニーズを探り、商品企画に活かすことにより、当社製品の競争力を維持することに努めております。また、その他のリスクについては有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。
- ✓ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション本部 IR部
mail : ir@p-antiaging.co.jp



PREMIER ANTI-AGING